

国立大学における情報処理関係施設の設置の経緯

	情報基盤センター (旧大型計算機センター)	情報処理センター等
昭和40年度	大型計算機センターの設置 東京大学大型計算機センター (～昭和47年までに東北大学、京都大学、大阪大学、北海道大学、九州大学及び名古屋大学に大型計算機センターを設置)	
昭和46年度		情報処理センターの設置 (東京工業大学 昭和51年度に総合情報処理センターに改組)
昭和51年度		総合情報処理センターの設置 (東京工業大学 平成13年度に高度化)
昭和52年度～昭和62年度		筑波大学(昭和53年度) 岡山大学(昭和58年度) 京都工芸繊維大学(昭和56年度)
昭和63年度		長崎大学 小樽商科大学 北見工業大学 長岡技術科学大学 豊橋技術科学大学
平成元年度		電気通信大学、新潟大学 東京学芸大学 東京海洋大学(旧東京水産大学)
平成2年度		愛知教育大学 滋賀大学 奈良教育大学 福岡教育大学
平成3年度	大型計算機を設置し、全国の大学に共同利用。 (以降、情報技術の進展に応じ、メインフレームを経て、スーパーコンピュータや分散環境による超大型計算システムを導入)	帯広畜産大学 宮城教育大学 大阪教育大学
平成4年度		信州大学 鳴門教育大学
平成5年度		横浜国立大学 上越教育大学 京都教育大学
平成6年度		弘前大学 北海道教育大学 兵庫教育大学
平成7年度		東京医科歯科大学 浜松医科大学
平成8年度		富山医科薬科大学
平成9年度		山形大学、山梨大学 滋賀医科大学
平成10年度		茨城大学、琉球大学
平成11年度	情報基盤センターの設置 (大型計算機センター、教育用計算機センター、附属図書館の一部を統合) 東京大学情報基盤センター	群馬大学、鳥取大学 旭川医科大学
平成12年度		静岡大学、佐賀大学 東京外国語大学 東京藝術大学
平成13年度	東北大学情報シナジーセンター 大阪大学サイバーメディアセンター 九州大学情報基盤センター	総合情報処理センターの高度化(メディア基盤センター) 千葉大学、東京工業大学 岩手大学 宇都宮大学 福井大学 大阪外国語大学 鹿屋体育大学
平成14年度	名古屋大学情報連携基盤センター 京都大学学術情報メディアセンター	島根大学 高知大学 大分大学
平成15年度	北海道大学情報基盤センター	富山大学、金沢大学、 岐阜大学、神戸大学、 愛媛大学、鹿児島大学 秋田大学、福島大学 お茶の水女子大学、一橋大学 三重大学、奈良女子大学 香川大学、宮崎大学
平成16年度	国立大学法人化(平成16年4月)	
平成17年度以降		

注)平成15年度末に、各国立大学に設置されていた情報基盤センター、メディア基盤センター、総合情報処理センター、情報処理センターのそれぞれの設置年度を整理した。